「ドイツのクリスマス～Deutsche Weihnachten～」について

12月に入るとドイツの町ではクリスマス市が開かれる。寒空の下でグリューワインと呼ばれる熱いワインを飲みながらクリスマス用品をいろいろ眺めて歩くのは市民の大きな楽しみだ。人々はクリスマス・ツリーをイブの日に初めて飾る。イブの晩は道路という道路から車の姿が消え、家では家族が揃って静かにお祝いする。そして、真夜中。街中の鐘が鳴り渡る。人々は粉雪の舞い落ちる氷点下の戸外に出、教会めざして歩き出す。こんなドイツ人の生活にクリスマス・オラトリオが密着している。ベルリンなどの大都市になると、各地の教会で一冬に数十回も演奏されるという。僕はクリスマス・オラトリオを演奏するなら、こうしたドイツの雰囲気を醸し出す演奏会を催さないと意味がないと思っていた。それがやっと実現する。モテット、ブランデンブルク協奏曲で華やかに彩られ、それからメインディッシュが来る二つの演奏会。なんという贅沢！ちょっと華やいで、くつろいで、そしてしあわせなひとときをきっとあなたにお届け出来ると信じている。

【指揮者】
三澤　洋史

（ブランデンブルク協奏曲：ソリスト）

ヴァイオリン：大谷　康子

フルート：三上　明子

トランペット：坂井　俊博

オーボエ：小林　裕

チェンバロ：広沢　麻美

（クリスマス・オラトリオ：ソリスト）

福音史家・テノール：鈴木　准

ソプラノ：藤崎　美苗

アルト：高橋　ちはる

バス：コンシュタンティン・ヴァルダドルフ

●カップリング講演会「ドイツのクリスマス」

会場：国立オリンピック記念青少年総合センター 国際交流棟 国際会議室
日時：2009 年 11 月 7 日 (土) 18:30 開演　18:00 開場
講師：加藤　浩子 (音楽評論家)

＊演奏会チケットをご持参の方は無料です。チケットをご購入でない方は入場料￥1,000 を頂戴します。
講演会ご参加の方は、お席の準備がございますので、1 週間前までに「東京バロック・スコラーズ」までお電話かメールにてご連絡ください。（電話番号・メールアドレスは表面に記載しています。）

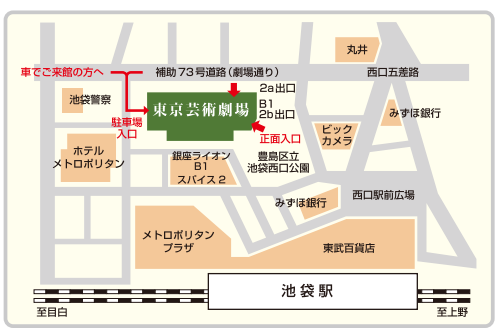
講演会講師：加藤　浩子

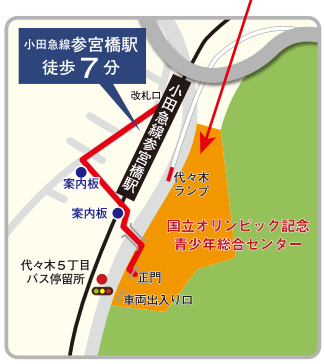
合唱：東京バロック・スコラーズ
管弦楽：東京バロック・スコラーズ・アンサンブル

三澤洋史のもとで「21 世紀のバッハ」を追求しようという志を共有する合唱団と管弦楽団。合唱団はオーディションによって選ばれたアマチュア、アンサンブルは一流のプロ奏者からなる。
演奏のみならず、公開レッスンや講演会など、多角的な活動を行っている。また、バッハを愛好する個人や団体とのネットワークを広げ、バッハ探求のセンターとなることを目指している。

東京芸術劇場

ＪＲ池袋駅西口



〒171-0021　東京都豊島区西池袋 1-8-1　TEL. 03-5391-2111(代)

国立オリンピック記念
青少年総合センター
国際交流棟　国際会議室